

# 産業教育研修講座（工業）

工業系の授業を担当している県内13人の先生方が集まり、県立産業技術短期大学校において7月30日・31日に産業教育研修講座（工業）を行いました。

研修では、マッチ箱ほどの大きさのコンピュータであるシングルボードコンピュータ（今回使用：Raspberry Pi Zero）に温度センサを組み込み、測定したデータをスマートフォンに通知する、IoTの仕組みについて学びました。

コンピュータに各種センサを組み込み利用するためには、アナログ値とデジタル値の違いや、電子回路の基本について理解する必要があります。そのためにLEDやモータ等の基本的な制御方法を研修した後、実際に、温度センサで測定したデータを、自身のスマートフォンに通知するシステムをつくりました。

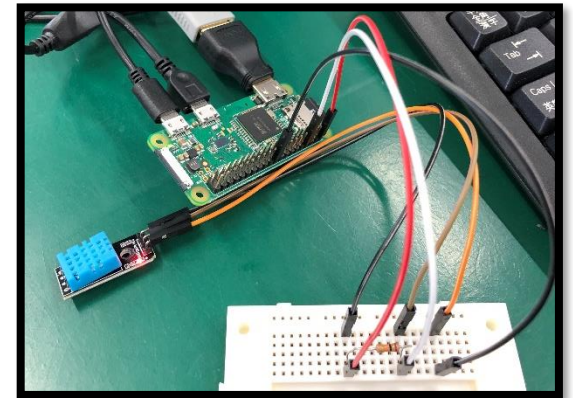
この技術を利用すれば、コンピュータが気温に合わせて自動的にその日の服装を提案してくれたり、ビッグデータと比較分析することで、天候の変化を予測し、農作物の管理をしたりといった、Society5.0が描く未来を創りだすことができますようになります。



講師の先生と確認しながら結線



温度センサの値をスマホで確認



温度センサとRaspberry Pi Zero

工業系の高等学校では、このような専門的な知識を学ぶことができ、将来のみなさんの生活を豊かにしてくれる技術と技能を学べる、夢のある教育を受けることができます。そのような学校の生徒達のために、先生方は積極的に研修に励んでいます。